



PHR(Personal Health Record) シンクヘルスプラットフォームが、 総務省が行った オンライン診療に関する調査研究で活用されました

総務省ホームページ

オンライン診療の普及促進に向けたモデル構築に係る調査研究

・報告書

出展：株式会社 NTT データ経営研究所による、オンライン診療の普及促進に向けたモデル構築にかかる調査研究報告書内「第Ⅱ部 各フィールドにおける調査報告書 フィールド1：愛知県名古屋市（代表団体：独立行政法人労働者健康安全機構中部ろうさい病院）p58」

PHRアプリを活用することで 患者の日常の状況の把握が可能になり、 医師の診療及び 看護師や栄養士等のコメディカルスタッフの指導の幅が広がり、 オンライン診療の質が向上

中部ろうさい病院^{*}(愛知県名古屋市)にて、オンライン診療+PHR活用の有効性等を調査

*本実証の代表施設

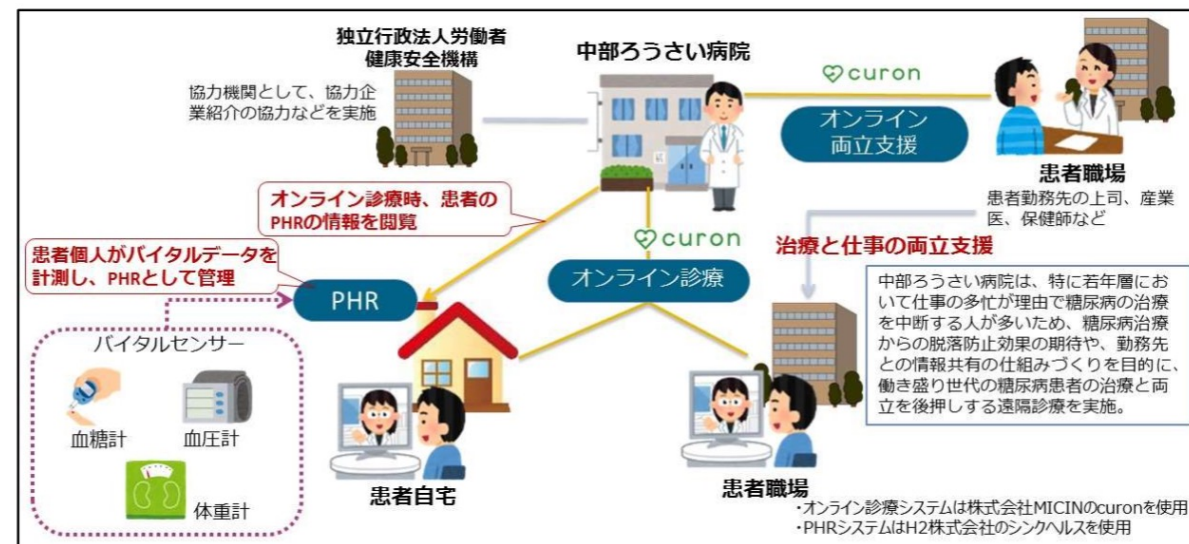
調査概要

生活習慣病のひとつである糖尿病は患者による日々の自己管理が重要であるが、日々の生活に追われ自己管理に継続的に取り組むことが難しいとされている。

本実証においては、IoT機器等を活用し、患者個人が計測したバイタルデータ(血糖、血圧、体重)をPHRとして管理できる仕組みと医師がオンライン診療時に患者のPHRデータを活用することで、患者、医師双方からの有用性等について検証した。

オンライン診療システムは、株式会社MICINが提供する、患者向けの診察・処方・決済・服薬継続支援の機能を持つスマートフォンオンライン診療アプリ「curon」を使用した。PHRアプリはH2株式会社が提供する、糖尿病などの慢性疾患に特化した「シンクヘルス」アプリを使用した。アプリに連携している機器にて血糖、血圧、体重を測定し、NFCあるいはBluetoothにて測定値を機器に送信する。医療機関側は「シンクヘルスプラットフォーム」を使用し、患者の測定値の入力状況を随時閲覧が可能である。

詳細情報: 報告書

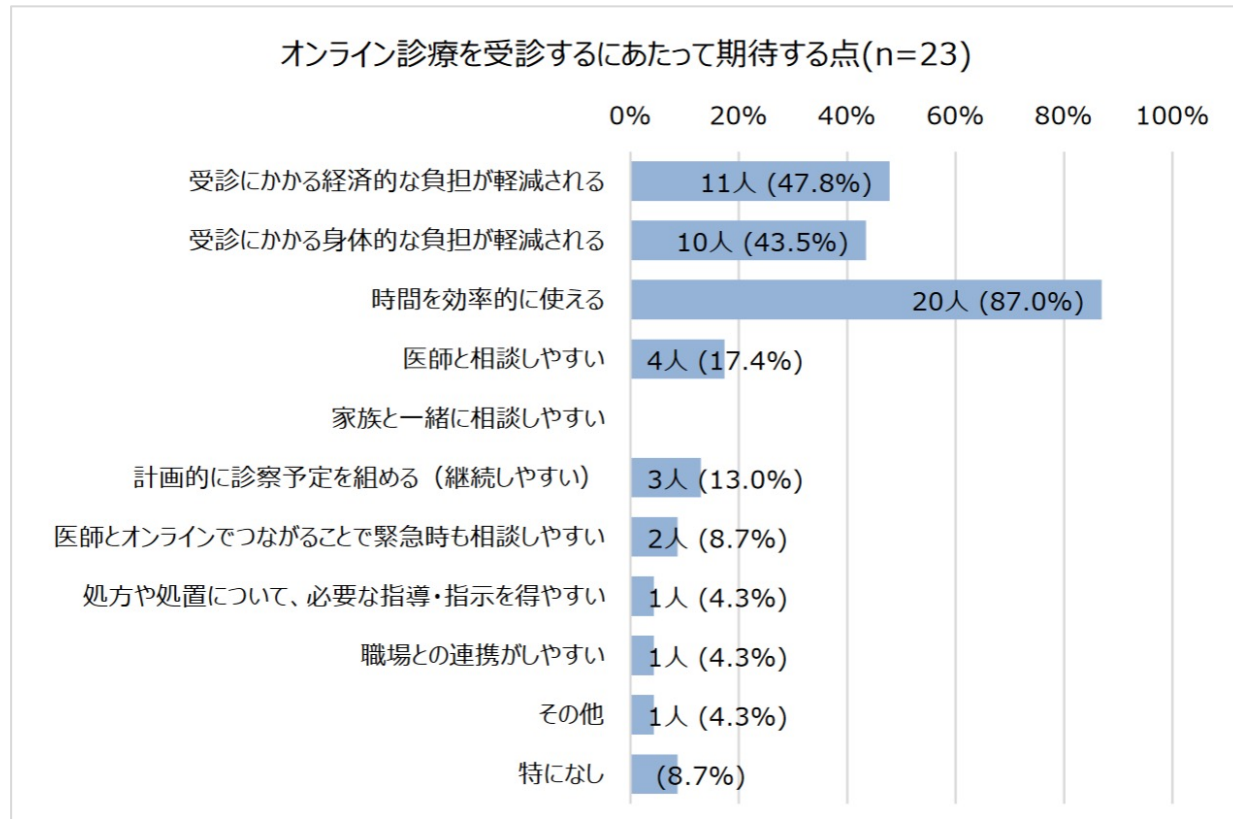


図表 1.1-1 実証の概要図

オンライン診療前アンケート

患者の期待は「時間を効率的に使える」

オンライン診療への実施前の期待は「時間を効率的に使える」が20名と最も多く、次いで「受診にかかる経済的な負担が軽減される」「受診にかかる身体的な負担が軽減される」が10名程度であった。



患者側の評価

PHRアプリを導入することで 「体重・血圧・血糖を医師と共有することで 診察がスムーズになった」

- ・患者視点での有効性についての考察有効性の評価としては、患者の意識変化も含め1年程度実施しないと計測はできないと考えるが、今回の患者アンケート結果から「医師と問題なくコミュニケーションが取れた」と感じている患者が多い。また会話の面でもオンライン診療と対面診療に大きな差はなく、患者との意思疎通が重要になる糖尿病治療においては有効である、と期待できる結果であった。
- ・またアンケート結果から、PHRアプリを活用することで「体重・血圧・血糖を医師と共有することで診察がスムーズになった」と感じている患者が多いことから、糖尿病治患者による日々の自己管理の重要なサポートツールとしてPHRアプリの活用可能性が期待できる。





医療機関側の評価

PHRデータを活用することで、 患者の日常生活が見える化 看護師、栄養士の指導できる幅が広がった

- ・ PHRデータを活用することで、患者の日常生活が見えるので指導をする看護師、栄養士の指導できる幅が広がった。
- ・ PHRアプリの活用が有用な患者像は1型糖尿病で血糖が不安定の患者である。(リブレ(24時間血糖をモニタリングできる機器)をオンラインで活用できるとなおい。)
- ・ 糖尿病(生活習慣関連疾患)診療においては、PHRを併用することにより患者の日常が見える化され、食事内容が栄養指導に、活動量が運動指導に有用で、内服アドヒアランス確認も可能となり、より質の高い診療が可能になる。PHRの活用は、オンライン診療の質を向上させる手段の一つとして位置づけられると考えられる。

患者がデータ入力をして 治療に前向きになっている事例があった

- ・まだ短期間の測定実績であり、一時的な可能性もあるが、患者がデータ入力をして治療に前向きになっている事例があった。一方で、通常治療に真面目に取り組んでいる患者でもPHRを予想以上には測定しない患者もいた。
- ・なお、患者のPHRデータの入力意欲を向上させるには、患者が入力しているPHRデータを医療従事者が閲覧していることが患者に伝わり、かつ診療で活用していることが患者に分かることが患者の意欲を上げるポイントだと現段階では考えられる。(实例として、看護師からのPHRデータを見ての声かけや医師や栄養士が診療で活用していることが分ると、患者のPHRデータの入力意欲が上がる傾向にあった。)

(参考)

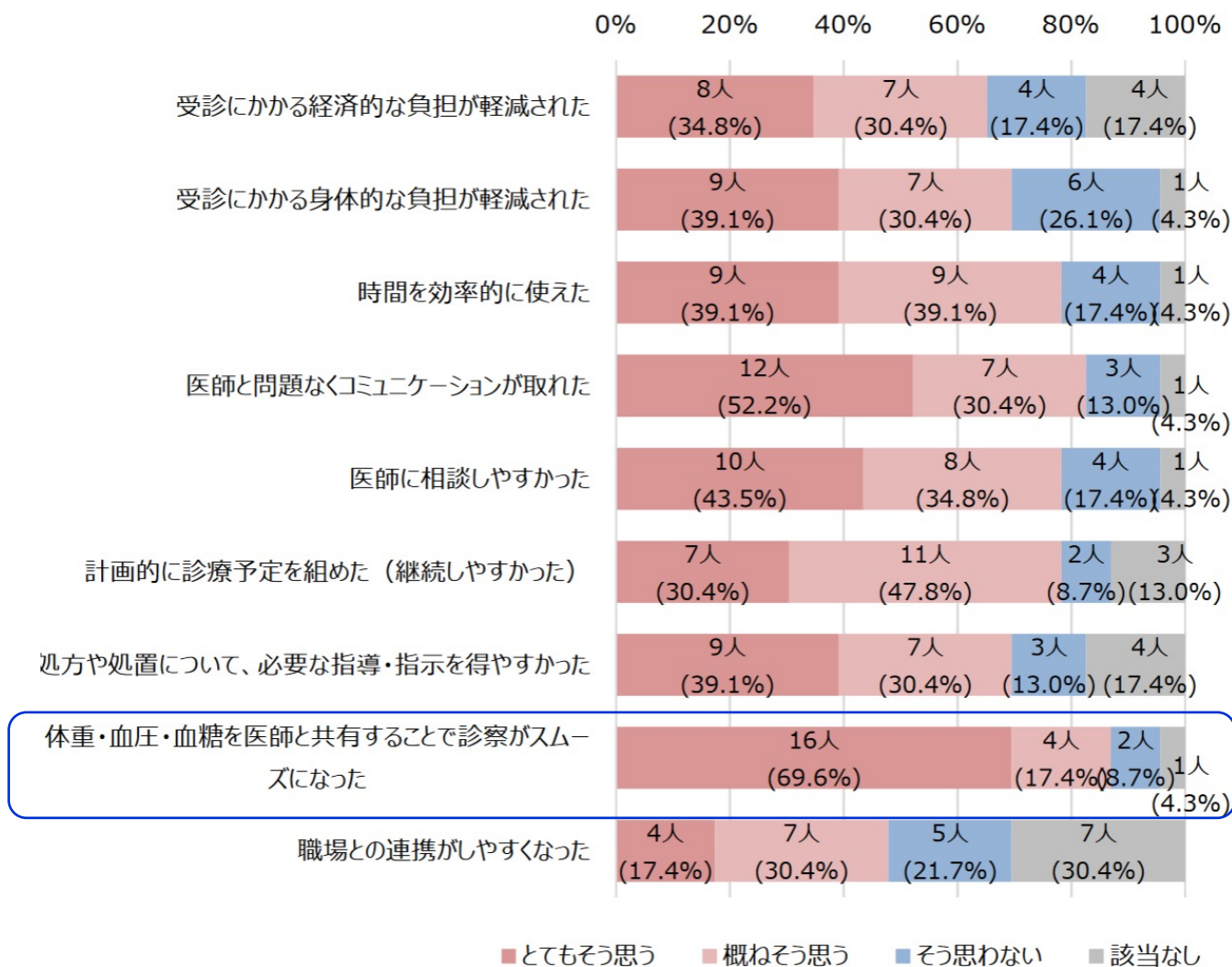
オンライン診療を実施しての感想は、「医師と問題なくコミュニケーションが取れた」に対して12名が「とても思う」と回答し、満足度が高い結果となった。

また、

PHRアプリを導入することで
「体重・血圧・血糖を
医師と共有することで
診療がスムーズになった」

も16名が「とても思う」と満足度が高い結果となった。

オンライン診療を受診しての感想(n=23)



(参考)

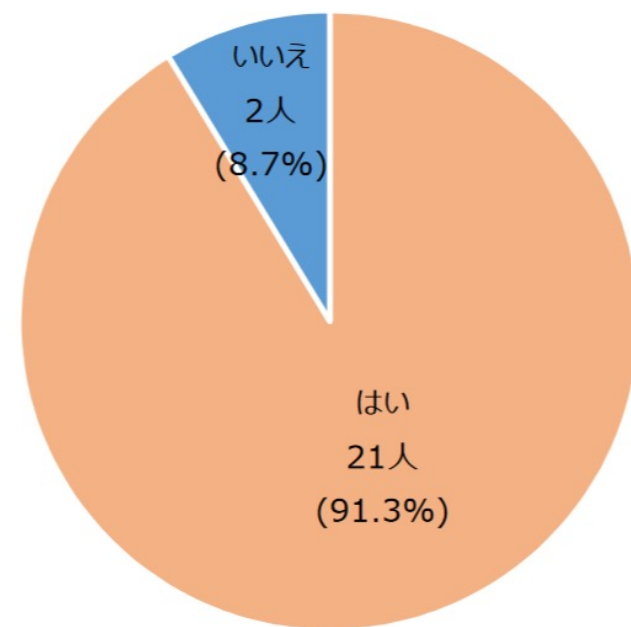
測定による健康管理への意識変化

体重・血圧・血糖を患者自身が定期的に測定することで、患者の意識変化があるという結果であった。

バイタル測定をすることで 日常の健康管理への意識が生じた

と回答した患者は21名で、
具体的には「食事を気を付ける」が15名、「運動量の増加」が9名であった。

測定による健康管理への意識変化(n=23)





シンクヘルスは下記血糖測定器に対応しています。(Bluetooth、NFC通信モデル)

対応モデル

- ・ アキュチェックガイド
- ・ グルコカード Gブラック
- ・ グルコカード プラスケア
- ・ グルコカードプライム
- ・ グルテストNeoアルファ
- ・ グルテストアイ
- ・ グルテストアクア
- ・ メディセーフフィット
- ・ メディセーフフィットスマイル
- ・ ワンタッチベリオリフレクト

対応モデルを
詳しくみる

シンクヘルスプラットフォームは、 無料で導入が可能です



今だけ
ずっと、使い放題

シンクヘルス
無料申込み

導入事例を見る

※アプリ・プラットフォームのシステムは
すべて無料でお使いいただけます。
営業スタッフによる訪問でのサポートは、
本サービス内容に含まれません。